学科到達目標

教育理念「人類の未来をきりひらく、感性ゆたかで実践力のある創造的技術者の育成 専攻科課程の教育目標と学習・教育到達目標

- (A) 人類の福祉と地球環境に配慮できる人間性と倫理観を持った技術者の育成
- (A1) 人文・社会科学に関する基礎的な事項について説明できること。
- (A2) 工業技術が社会、自然環境や人間に及ぼしている影響について、例を示し説明できること。
- (A3) 工業技術が地球環境に及ぼしている影響について、技術者倫理に照らして対応策を提案できること。
- (B) すぐれたコミュニケーション能力と国際的視野をもち、多様な価値観を理解できる技術者の育成
- (B1) 論理的な文章が書けること。
- (B2) 日本語による科学技術の報告書の作成及び発表・討論ができること。
- (B3) 異なる文化的背景を持つ多様な国際文化を理解できること。
- (B4) 英語のコミュニケーション能力として基本的な読み取り、聞き取りができること。
- (C) 早期技術者教育の特長を生かし、科学と技術の基礎を身につけた、健全で創造性ゆたかな技術者の育成
- (C1) 工学の基礎となる数学、物理学、その他の自然科学の内容に関する発展的な問題が解けること。
- (C2) 工学の基礎知識が、技術の分野でどのように応用されているかを説明できること。
- (C3) 基礎工学の知識を理解し、それらを用いて基本的な問題が解けること。
- (D) 工学の専門知識とものづくりのスキルをかね備え、情報技術を駆使できる技術者の育成。
- (D1) 専門工学の知識を理解し、特定の専門分野ごとの代表的な問題を解けること。
- (D2) 特定の専門分野の問題解決のために必要な装置やソフトウェアなどの工学的ツールを活用できること。
- (D3) ものつくりのために実験・実習で身につけた技術・技能を活用できること。
- (D4) 問題を解決するために必要な情報を収集し、解析するための情報技術を使いこなせること。
- (E) 多面的思考力と計画力をもち、課題の解決と技術の開発を実行できる技術者の育成
- (E1) 自然科学、基礎工学、専門工学の知識を総合的に利用し、工学的課題の解決方法を説明できること。
- (E2) あらゆる制約(時間、設備、資金、人的・物的資源など)を考慮しながら、課題を解決するための計画を作成できること。
- (E3) 異なる技術分野を理解し、自分の得意とする専門分野の知識とあわせて、状況に応じてチームでも技術的課題を解決できること。
- (F) 地域の産業と社会に連携し、時代の要請に応えられる実践力のある技術者の育成
- (F1) 企業等での実習体験をとおして、地域社会と産業の要求している内容を把握し整理できること。
- (F2) 自分が身に付けた技術的な知識や能力が、地域社会と産業にどのように活用できるかを説明できること。
- (G) 自発的学習能力を身につけ、継続的に自己啓発のできる技術者の育成
- (G1) 工学の専門分野における技術的な動向について説明できること。
- (G2) 工学的な問題を発見して、その解決に必要な情報や資料を収集し、整理できること。
- (G3) 技術的な問題の解決のために、計画して、実施して、その活動を評価し、改善策を提案できること。

						学年別記	周当授業(時数							
科目分	国区	 授業科目	科目番 号	単位種 別	単位数	専1年				専2年				担当教 員	履修上 の区分
分		技耒村日 	号	別	甲似釵	前		後		前		後		員	の区分
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
—	選択	地域文化論	0001	学修単 位	2			2						田中 聡	
— 般	必修	科学哲学	0002	学修単 位	2	2								鈴木 覚	
— 般	選択	総合英語	0003	学修単 位	2	4								遠藤 修 宏	
	, 355			学修肖						1	1		1	猪平 直人,堀口 真利	
般	選択	日本言語文化	0004	学修単 位	2			2						口真利	
般	選択	欧米文化論	0005	学修単 位	2			2						土田 泰子	
—	必修	地域産業と技術	0006	学修単 位	2	2								田中 聡,陽田	
— 般	選 択	実用英語	0007	学修単 位	2					2				占部 昌蔵	

	楚情報		交	3和03年度 (2					
科目番号		0001			科目区分		一般/選	 张	
授業形態		講義			単位の種別と	単位数	学修単位	: 2	
開設学科		専攻科	一般科目		対象学年		専1		
開設期		後期			週時間数		2		
教科書/教	材	プリン							
旦当教員		田中縣	<u> </u>						
到達目									
美田標と(の関連を以 に関して調	トに示り.	a:Regional Culture The の(A)と主体的に関わる. ①地域文化研究の基本的 行い,それを相互に説明	なり 法を理解り	る、30% (AI)	評価上の質)②長岡の対	iみ付け, 也域的な特	各到達目 接徴を理解	標と長岡高専の学習・教育 する.30% (A1)③地域の
<u>'レ ノ .</u>	<i></i>	Ŧ		煙準的な到達		最低限の	 到達レベ	ルの目安	未到達レベルの目安
			域文化研究の基本的な方		でである。 この基本的な方		研究の基準		
平価項目:	1		を詳細に理解する.	法を理解する			理解する		左記に達しない.
平価項目:	2	調	域の歴史や文化に関する 査・分析を詳細に行うこ :ができる。	地域の歴史や調査・分析を	文化に関する 行うことがで	地域の歴 調査・分 ができる	史や文化 析を概ね。 。	こ関する 行うこと	左記に達しない.
			査・分析した結果を詳細		た結果を発表		析した結	果を概ね	左記に達しない.
<u></u>	711)± '	-	:発表できる. BB/を	できる.		発表でき	ර.		
	<u>到達目標工</u>	具目との	関係						
教育方法	去等	1							
既要		地方再	生が叫ばれる中, 伝統文 この科目では, こうした	化の振興を通じ 動向を重担し	て地域再生を試験が地域の歴	ける取組	が官民間で	ご活発に行	fわれ, 一つの潮流となって B方・考え方を涵養する
ルダ		〇関連	する科目:歴史学,地域	製品で実成し, 産業と技術	>1 といる・ピッペVノゴ	ニメバメル	に区左しん	_ 00,00,50	J/J でんりで図良りる。
受業の進	め方・方法	者は, この授	自ら長岡の歴史や文化に 業は学修単位科目のため	ついて調査・分	析を行い,プレ	⁄ゼンを行	う.)見方・考え方を学ぶ.受請 !題等を事前・事後に予習・
			<u>ることが必要です。</u> -						
主意点		<u> </u> 特にな							
文耒の湯	属性・履何	多上の区:	TT .						
	 ``	- \ H	E TOT THE			+4 r÷-		T	75/25Aのナスが早に L スゼ
☑ アクラ	-ィブラーニ	ニング	☑ ICT 利用		□ 遠隔授業	対応		□実	務経験のある教員による授
		ニング	☑ ICT 利用		□ 遠隔授業	対応		□実	務経験のある教員による授
					□ 遠隔授業		の到海口		務経験のある教員による授
		週	授業内容		□ 遠隔授業	週ごと	の到達目	票	
					□ 遠隔授業	週ごと 本授業 地域文	の目標やた	票 方法などを ぶ意義に関	を理解する. 関する課題
		週	授業内容	1	□ 遠隔授業	週ごと 本授業 地域文 身近な 新潟県	の目標や 化論を学 地域の歴 の歴史と	票 方法などを ぶ意義に まや文化に 文化に関す	を理解する. 関する課題 こついて理解する. する課題 1
		週	授業内容ガイダンス		□ 遠隔授業	週ごと 本授 大	の目標やだれ 化論を学り 地域の歴 の歴史とで 地域の歴	票 方法などを ぶ意義に関 史や文化に関す 文化に関す	を理解する. 関する課題 こついて理解する.
		週 1週 2週	授業内容 ガイダンス 新潟県の歴史と文化	2	□ 遠隔授業	週ご 大学 と 対	の目標や、化論を学が地域の歴史と、地域の歴史と、地域の歴史と、の歴史と、地域の歴と、地域の歴	票 方法などを ぶ意義に関 史や文化に関す 史や文化に関す 文化に関す 史や文化に関す	を理解する. 関する課題 こついて理解する. する課題 1 こついて理解する.
		週 1週 2週 3週	授業内容 ガイダンス 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化	2	□ 遠隔授業	週 大学 と 対	の目標や 化論を学 地域の歴と 地域の歴 地域の歴 地域の歴 地域の歴と 地域の歴と 地域の歴と	票 方法などを ぶ意義に関 文化に関う とや文化に 文化に関う とや文化に 文化に関う とや文化に 文化に関う	を理解する. 関する課題 こついて理解する. する課題 1 こついて理解する. する課題 2 こついて理解する. する課題 3 こついて理解する.
	動	週 1週 2週 3週 4週 5週	授業内容 ガイダンス 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化	2 3 4	□ 遠隔授業	週本地 身新 身新 身新 身新 身新 り かい	の目標や 化論を学 地域の歴と 地域の歴と 地域の歴と 地域の歴と 地域の歴と 地域の歴と 地域の歴と	票 方法などを が意義に関す とや文化に関す とや文化に関す とで文化に関す とで文化に関す とで文化に関す とで文化に関す とで文化に関す とで文化に関す	を理解する. 関する課題 こついて理解する. する課題 1 こついて理解する. する課題 2 こついて理解する. する課題 3 こついて理解する. する課題 4 こついて理解する.
	動	週 1週 2週 3週 4週	授業内容 ガイダンス 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化	2 3 4	□ 遠隔授業	週本地 身新 身新 身新 身新 身新 身新 身新 身新 り かい	の目標や 北域の歴と 地域の歴と 地域史歴 地域史歴 地域史歴と 地域歴史と 地域歴史と 地域歴史と 地域歴史と 地の歴史 地域の歴と	票 方法など 表 で 一 方法 表 で 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	を理解する. 関する課題 こついて理解する. する課題 1 こついて理解する. する課題 2 こついて理解する. する課題 3 こついて理解する. する課題 4 こついて理解する. する課題 5
	動	週 1週 2週 3週 4週 5週	授業内容 ガイダンス 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化	2 3 4 5	□遠隔授業	週 本地 身新 身新 身新 身新 身新 り は	の化 地の 地の 地の 地の 地の 化集課を の史 の史 の史 の史 の史 の史 の史 の史 究分 1 で	票 方法などで 一 方法義に関す 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	を理解する. 関する課題 こついて理解する. する課題 1 こついて理解する. する課題 2 こついて理解する. する課題 3 こついて理解する. する課題 4 こついて理解する. する課題 5 方法を理解するとともに、資料の整理・分析に
受業計画	動	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	授業内容 ガイダンス 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化	2 3 4 5 実践 1	□遠隔授業	週本地 身新 身新 身新 身新 地料関 地料の はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はい	の化 地の 地の 地の 地の 地の 化集課 化標を の史 の史 の史 の史 の史 の史 究分1 究分1 究が 域歴 研・題 研・題 研・の 化集課 化	票方法裁判とでは、対しては、対しては、対しては、対しては、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して	を理解する. 関する課題 こついて理解する. する課題 1 こついて理解する. する課題 2 こついて理解する. する課題 3 こついて理解する. する課題 4 こついて理解する. する課題 5 方法を理解するとともに, 資 気 2 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
受業計画	動	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	授業内容 ガイダンス 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化 地域文化研究の方法と	2 3 4 5 実践 1 実践 2	□遠隔授業	週 本地 身新 身新 身新 身新 男新 男新 男新 身新 身新 身新 身新 男新 地料関	の化 地の 地の 地の 地の 化集課 化集課 化物型 地の 地の 地の 地の 地の 化集課 化集器 研・題 研・題 研・題 研・題 研・題 研・題 研・題 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	票方式。史文と文と文と文と文と、史文と、史文と、史文と、史文と、史文と、史文と、史文と、	を理解する. 関する課題 こついて理解する. する課題 1 こついて理解する. する課題 2 こついて理解する. する課題 3 こついて理解する. する課題 4 こついて理解する.
受業計画	動	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	授業内容 ガイダンス 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2 3 4 5 実践 1 実践 2 実践 3	□遠隔授業	週 本地 身新 身新 身新 身新 地料関 地料関 地料関 近潟 近潟 近潟 近潟 近潟 域のす	の化 地の 地の 地の 地の 地の 化集課 化集課 化集開 化集 付上 地の 地の 地の 地の 化集課 化集課 化集 で 小学 歴と 歴と 歴と 歴と 歴と の が の が の が の が の が の が の が の が の が の	票方ぶ 史文 史文 史文 史文 基を	を理解する. 関する課題 こついて理解する. する課題 1 こついて理解する. する課題 2 こついて理解する. する課題 3 こつい既題 4 こつい既題 4 こつい既題 5 方法を理解する. する課題 5 方法を理解するとともに、資料の整理・分析に が集した資料の整理・分析に 対集した資料の整理・分析に が、対象した資料の整理・分析に 対象した資料の整理・分析に 対象した資料の整理・分析に 対象した資料の整理・分析に 対象した資料の整理・分析に 対象した資料の整理・分析に 対象した資料の整理・分析に 対象した資料の整理・分析に 対象した資料の整理・分析に 対象した資料の整理・分析に 対象した資料の整理・分析に 対象した資料の整理・分析に
図 アクラー 授業計画	動	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	授業内容 ガイダンス 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2 3 4 5 実践 1 実践 2 実践 3	□遠隔授業	週 本地 身新 身新 身新 身新 地料関 地料関 地料関 地料関 地料関 近潟 近潟 近潟 近潟 近潟 域のす	の化 地の 地の 地の 地の 化集課 化集課 化集課 化集課 化集 日論 域歴 域歴 域歴 域歴 研・題	票 方ぶ 史文 史文 史文 史文 基を また 本行 本行 本行 本介 かい	を理解する. 関する課題 こついて理解する. する課題 1 こついて理解する. する課題 2 こついて理解する. する課題 3 こついて理解する. する課題 4 こついま題 4 こつは要解する. する課題 5 方法を理解するとともに、資料の整理・分析に 対集した資料の整理・分析に 対集した資料の整理・分析に 対策を理解するとともに、資料の整理・分析に 対策を理解するとともに、資料の
受業計画	動	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	授業内容 ガイダンス 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化 ・地域文化研究の方法と 地域文化研究の方法と 地域文化研究の方法と 地域文化研究の方法と	2 3 4 5 実践 1 実践 2 実践 3	□遠隔授業	週 本地 身新 身新 身新 身新 地料関 地料関 地料関 地料関 研をご 授域 近潟 近潟 近潟 近潟 近潟 近潟 地料関 地料関 地料関 地料関 地料関 研を	の化 地の 地の 地の 地の 化集課 化集課 化集課 化集課 化集器 法る目論 域歴 域歴 域歴 域歴 研・題 研・題 研・題 研・題 研・題 研・題 研・題 でいま のよ の史 の史 の史 の史 の史 究分1 究分2 究分3 究分4 究分5 のや学 歴と 歴と 歴と 歴と の析 の析 の析 の析 取析 の析	票方式。史文、史文、史文、史文、基を、基を、基を、基を、基を、文に、文に、文に、文に、外で、本行、本行、本行、本行、本行、本行、本行、本行、本行、本行、本行、本行、本行、	を理解する. 関する課題 こついて理解する. する課題 1 こつい理解する. する課題 2 こついで理解する. する課題 3 こつい課題 3 こつる課題 4 こつる課題 4 こつる課題 5 方法を理解する. する課題 5 方法を理解する. する課題 5 方法を理解する. 方法とを理解するとともに, が なりないでは、 方法を理解するの整理・分析(方法を理解するの整理・分析(方法を理解するの整理・分析(方法を理解するとともに分析(方法を理解するとともに分析(方法を理解するとともに分析(方法を理解するととともに分析(方法を理解するの整理・分析(方法を理解するととともに分析(方法を理解するの整理・分析(方法を理解するととともに分析(方法を理解するの整理・分析(方法を理解するととともに分析(方法を理解するととともに分析(方法を理解するととともに分析(方法を理解するととともに分析(方法を理解するの整理・分析(方法を理解するの整理・分析(方法を理解するととともに分析(方法を理解するの整理・分析(方法を理解するの整理・分析(方法を理解するの整理・分析(方法を理解するの整理・分析(方法を理解するの整理・分析(方法とした) 「方法とした。」 「方法とした。」 「方法とした。」 「方法とした。」 「方法とした。」 「方法とした。」 「方法とした。」 「方法とした。」 「方法とした。」 「方法とした。」 「方法とした。」 「方法とした。」 「方法とした。」 「方法とした。」 「方法とした。」 「方法とした。」 「方法とした。」 「方法とした。」 「方法し。 「方法。 「方法。 「 方法。 「方法。 「方法。 「 方法 「 方法 「 方法 「 方法 「 方法 「 方法 「 方法 「 方法
受業計画	3rdQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	授業内容 ガイダンス 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 3 4 5 実践 1 実践 2 実践 3	□遠隔授業	週 本地 身新 身新 身新 身新 地料関 地料関 地料関 地料関 研を発 研をご 授域 近潟 近潟 近潟 近潟 近潟 域のす 域のす 域のす 域のす 究深表 究深と 業文 だ県 だ県 だ県 だ県 でいる 文いる 文いる 文いる 文いる 大め資 だめ	の化 地の 地の 地の 地の 化集課 化集課 化集課 化集課 化集課 法る料 法る目論 域歴 域歴 域歴 域歴 研・題 研・題 研・題 研・題 研・題 研・題 へ・の へ・標を の史 の史 の史 の史 究分1 究分2 究分3 究分4 究分5 の 作 のや学 歴と 歴と 歴と 歴と の析 の析 の析 の析 明 成 理	票 方ぶ 史文 史文 史文 史文 昼を 昼を 昼を 昼を 解 こ 解・法意 や化 や化 や化 や化 本行 本行 本行 本 で 関 や とに 化質 化質 化質 化質 のう めう めう めう りり りり りょ す 収 す 収 まん	を理解する. 関する課題 こついて理解する. する課題 1 こつい理解する. する課題 2 こつい課題 2 こつい課題 3 こつい課題 4 こつい課題 4 こつい課題 5 する課題 5 方法を理解する. する課題 5 方法を世解 する. 方法ととともに, 前の整理・分析に 対集した 理解する。 を理解する。 方法を理解する。 方法を理解する。 方法を世解する。 方法を理解する。 方法を理解する。 方法を理解する。 方法を理解する。 方法を理解する。 方法を理解する。 方法を理解する。 方法を理解する。 方法を理解する。 方法を理解する。 方法を理解する。 方法とととした。 方式を表し。 方式を表し。 方式を表し。 方式を表し。 方式を表し。 方式を表し。 方式を表し。 方式を表し。 方式を表し。 方式を表し。 方式。 方式 方式 。 方式 方式 。 方式 方式 。 方式 方式 。 方式 方式 。 方式 。
受業計画	3rdQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	授業内容 ガイダンス 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化 新潟県の歴史と文化 地域文化研究の方法と	2 3 4 5 実践 1 実践 2 実践 3	□遠隔授業	週 本地 身新 身新 身新 身新 地料関 地料関 地料関 地料関 研を発 研を発ご 授域 近潟 近潟 近潟 近潟 近潟 域のす 域のす 域のす 域のす 残でま 究深表 究深表 一葉 ないる 文いる 文いる 文いる 文いる 大い資 ため資	の化 地の 地の 地の 地の 化集課 化集課 化集課 化集課 化集課 法る料 法る料目論 域歴 域歴 域歴 域歴 研・題 研・題 研・題 研・題 研・題 研・題 へ・の へ・の標を の史 の史 の史 の史 究分1 究分2 究分3 究分4 究分5 の 作 の 作や学 歴と 歴と 歴と 歴と の析 の析 の析 の析 の析 理 成 理 成	票方式。史文史文史文史文基を基を基を基を、解こ解こので、ま、意、文明、文明、文明、文明、文明、文明、文明、文明、文明、文明、文明、文明、文明、	を理解する. 関する課題 こついて理解する. する課題 1 こつい理解する. する課題 2 こつい課題 2 こつい課題 3 こつい課題 4 こつい課題 4 こつい課題 5 する課題 5 方法を理解する. する課題 5 方法を世経費料の整理・分析に が取集した理解するの整理・も分析に 対集した理解するの整理・も分析に 対集した理解するの整理・も分析に 対集した理解するの整理・も分析に 対集した理解するの整理・も分析に 対集した理解するの整理・も分析に 対集した理解するの整理・も分析に 対集した理解するの整理・も分析に 対象した理解するのをとともに分析に 対象した。 対象した理解するのをとともに分析に 対象した。 対象したのを理解するのをとして、 対象した。 対象した。 対象した。 対象に対する。 対象に対する理解・分析 は対する理解・分析 は対する理解・分析

		15週		果題発 え	 表会			を深め) A		資料に対する	5理解・分析
			107	, wes / U 1				発表資	料の作成に	関する課題	4	
	フカロナ	16週 ¬=	しん	÷ 3,3 r , \								
<u>モノルコ</u> 分類	アカラモ	-	<u>ムの子</u> ·野		1合と到廷 学習内容	<u>ロ信</u> 学習内容の到達					到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社 科学		立	玗	見けられる 現代社会の 診察	現代社会の特質用して探究し、を通して、世界について人文・	や課題に関する その成果を論う の人々が協調し	述したり討論 し共存できる	したりするな 持続可能な社	どの活動	4	後1,後2,後 3,後4,後 5,後8,後 7,後8,後 9,後10,後 11,後12,後 13,後14,後 15,後16
						書籍、インター・収集することが		ケート等によ	り必要な情報	る でいま でんぱい でんしょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	4	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 8,後9,後 10,後11,後 12,後13,後 14,後15,後
						収集した情報の 報を選択できる。		里・分類など	により、活用	すべき情	4	後10,後 11,後12,後 13,後14,後 15,後16
						収集した情報源あることを知っ	列用元などの信頼性・正確性に配慮する必要 いる。			⁻ る必要が	4	後10,後 11,後12,後 13,後14,後 15,後16
						情報発信にあたり自己責任が発生	っては、発信で することを知っ	する内容及び っている。	その影響範囲	について	4	後10,後 11,後12,後 13,後14,後 15,後16
分野横断的 能力	汎用的技	能汎	汎用的技能		能 汎用的技能	情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。			が必要で	4	後10,後 11,後12,後 13,後14,後 15,後16	
						目的や対象者に 信(プレゼンテー			を用いて正し	く情報発	4	後10,後 11,後12,後 13,後14,後 15,後16
						あるべき姿と現: きる	犬との差異(課	題)を認識す	るための情報	収集がで	4	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 8,後9,後 10,後11,後 12,後13,後 14,後15,後 16
						複数の情報を整	里・構造化でる	きる。			4	後10,後 11,後12,後 13,後14,後 15,後16
						特性要因図、樹ために効果的な	形図、ロジック 図や表を用いる	クツリーなど ることができ	課題発見・現 る。	状分析の	4	後10,後 11,後12,後 13,後14,後 15,後16
評価割合												
	試験	È		発表		相互評価	態度	ポー	トフォリオ	提出物	合計	<u> </u>
総合評価割合	≙ 0			20		20	30	0		30	100)
基礎的能力	0			20		20	30	0		30	100)
専門的能力	0			0		0	0	0		0	0	
分野横断的能	能力 0			0		0	0	0		0	0	

長田	1丁業高等	専門学校	開講年度	令和03年度 (2	0021年度)	授	業科目 科学哲	 学	
科目基礎		<u>VI. LT 117.</u>	ארד נו מון ן	134世(25十/文(2	·021—/文)	178		<u> </u>	
<u>17口坐</u> 9 科目番号	~_IDTK	0002			科目区分		一般 / 必修		
授業形態		講義			単位の種別と	並付数	学修単位: 2		
開設学科		専攻科一			対象学年		専1		
開設期		前期	72,110		週時間数		2		
<u> </u>		112111	 :使用しない/補助教材						
<u>/// 10/ //</u> 担当教員	(1.3	鈴木 覚	1,2,1,3,0,0,0,0,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1	7720 (7 7 7 7 2	.10.10.0				
到達目標	<u> </u>	12							
(科目コー この科目に 到達目標で 70%(A1)	- ード:A001 は長岡高専の との関連を、)、②技術者	0, 英語名: の教育目標の 到達目標、 倫理の諸問題	Philosophy of Scie O(A) と主体的に関わ 評価の重み、学習・ 題について説明でき	ence)(本科目は、 うる。この科目の到) 教育到達目標との る。20%(A2)、③	第1学期、第2 達目標と、成績 関連の順で次に 将来世代に対す	学期に週1 評価上の重 示す。①す る技術者の	回で実施する。) 昼み付け、各到達目 支術者倫理の基本事 D貢献を思い描くこ	標と長岡高専の 項について理解 とができる。10	学習・教育 する。)%(A3)。
ルーブリ	ノック							T	
			別な到達レベルの目				到達レベルの目安	未到達レベルの)目安
評価項目1	1	いて	所者倫理の基本事項に 詳細に理解する。	いて理解する	0	いて概ね	理の基本事項につ 理解する。 	左記に達してい	ない。
評価項目2	2	て詩	所者倫理の諸問題にて 詳細に説明できる。	て説明できる	•	て概ね説	理の諸問題につい 明できる。	左記に達してい	ない。
評価項目3		貢献 がで	そ世代に対する技術者 状を詳細に思い描くこ ごきる。	者の 将来世代に対 三と 貢献を思い描 る。	する技術者の くことができ 		に対する技術者の ね思い描くことが 	左記に達してい	いない。
		頁目との関	係						
教育方法	去等								
概要		ども用い	と倫理、環境倫理、 て学ぶ。また、事例 る科目:哲学B(前:	研究についての発	表も課する。		それに関連する内容	の主なものを、	映像資料な
授業の進め	め方・方法	適宜、授 事後学習	業内容に沿った映像 として「週ごとの到	後資料等を用いる。 達目標 欄に示す	また、適宜、小 課題などを実施	テストも? する。	うう。この授業は学	修単位科目のた	め、事前・
注意点		テレビの	題に対し想像力を働 ニュースにも、日々 ない者は原則として	[,] 関心をもって接し ^一	てもらいたい。	に臨んできなお、必ず	ららいたい。また、 ず全員に事例研究に	技術と倫理に関 ついての発表を	する新聞や 行ってもら
		多上の区分					I		
□ アクァ	ティブラーニ	_ング	□ ICT 利用		□ 遠隔授業対	小心		務経験のある教	貝による授業
<u></u>	-								
授業計画	–	T.=	I			N N			
		週	授業内容				の到達目標		0 .
		1週	導入、科学技術の光				術の光と影について		
		2週	科学技術の光と影				術の光と影について		
		3週	基本的な倫理理論				な倫理理論について		
	1stQ	4週	基本的な倫理理論	(2)			な倫理理論について		
		5週	技術者倫理とは				倫理の基本について		〕レボート。
		6週	技術者倫理規程				倫理規程について理	欝する。課題し	.0 .
		7週	科学者と倫理(1)					n_+ = =mn=	
		8週	科学者と倫理(2)				と倫理について理解		パート。
		O/E	#ED 6 2 77744			科学者	と倫理について理解 と倫理について理解	なる。課題レオ	ૌ− ト。 ૌ− ト。
計田		9週	集団の心理学			科学者集団の	と倫理について理解 と倫理について理解 心理学について理解	なする。課題レオ なする。課題レオ	∜− ト。 ∜− ト。 ∜− ト。
前期		10週	企業倫理			科学者 集団の 企業倫	と倫理について理解 と倫理について理解 心理学について理解 理について理解する	ない 課題レオ ない 課題レオ ない 課題レポート	ᢤ᠆├。 ᢤ᠆├。 ᢤ᠆├。
前期						科学者 集団の 企業倫 技術者	と倫理について理解 と倫理について理解 心理学について理解する 理について理解する と法について理解す 倫理に関わる事件・	ない はいまれる はいまれる はいま はいま はいま はいま はい	ᢤ
前期	2ndQ	10週	企業倫理 技術者と法			科学者 集団の 企業倫 技術類 技術題 技術者 技術者	と倫理について理解 と倫理について理解 心理学について理解する 理について理解する と法について理解する と法について理解する とまについて理解する 倫理に関わる事件・ 倫理に関わる事件・	好する。課題レオ 好する。課題レガ ら。課題レポート る。課題レポート 事故について訪	ポート。 ポート。 ポート。 、。 -ト。 始明できる。
前期	2ndQ	10週 11週 12週	企業倫理 技術者と法 発表(1)			科学団 企業術術題 技課 技課 技課 技課 技課	と倫理について理解 と倫理について理解 心理学について理解する 理について理解する と法について理解する と法について理解する 倫理に関わる事件・ ポート。 倫理に関わる事件・ ボート。	ない はいます はいます ままま はいまま ままま はい	ペート。 ペート。 ペート。 ・ト。 ・い。 ・・い。 ・・い。 ・・い。 ・・い。 ・・い。 ・・い。
前期	2ndQ	10週 11週 12週 13週	企業倫理 技術者と法 発表 (1) 発表 (2)			科集の 全技術 術題 術題 境 技課 環題 境レイン (最近の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	と倫理について理解 と倫理について理解 心理学について理解する 理について理解する と法について理解する と法について理解する 倫理に関わる事件・ ポート。 倫理に関わる事件・ ボート。	解する。課題レオ 解する。課題レポート る。課題レポート 「る。課題レポート 事故について訪 事故について訪	ペート。 ペート。 ペート。 、。 - ト。 説明できる。 説明できる。 理解する。課
前期	2ndQ	10週 11週 12週 13週 14週	企業倫理 技術者と法 発表 (1) 発表 (2) 環境倫理、ヒューマ	マン・エラー		科集 企業 が 後期 で は は は は ま が は ま が は ま が は ま は ま は ま は ま	と倫理について理解 と倫理について理解 心理学について理解する 理について理解する と法について理解する と法について理解する とはについて理解する は理に関わる事件・ボート。 倫理に関わる事件・ボート。 理、ヒューマン・エート。	解する。課題レオ 解する。課題レポート る。課題レポート 「る。課題レポート 事故について訪 事故について訪	ペート。 ペート。 ペート。 、。 ・ト。 説明できる。 説明できる。 課解する。課
		10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	企業倫理 技術者と法 発表(1) 発表(2) 環境倫理、ヒューマ 研究倫理 期末試験	アン・エラー		科集 企業 が 後期 で は は は は ま が は ま が は ま が は ま は ま は ま は ま	と倫理について理解と倫理について理解すると法について理解すると法について理解すると法について理解するとはに関わる事件・ポート。倫理に関わる事件・ポート。 世、ヒューマン・コート。 理について理解する	解する。課題レオ 解する。課題レポート る。課題レポート 「る。課題レポート 事故について訪 事故について訪	ペート。 ペート。 ペート。 ・ト。 砂明できる。 砂明できる。 Warta
モデルニ		10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	企業倫理 技術者と法 発表 (1) 発表 (2) 環境倫理、ヒューマ 研究倫理 期末温: 試験解説・第 学習内容と到達	アン・エラー	票示	科集 企業 が 後期 で は は は は ま が は ま が は ま が は ま は ま は ま は ま	と倫理について理解と倫理について理解すると法について理解すると法について理解すると法について理解するとはに関わる事件・ポート。倫理に関わる事件・ポート。 世、ヒューマン・コート。 理について理解する	解する。課題レオ 解する。課題レポート る。課題レポート 「る。課題レポート 事故について訪 事故について訪	ペート。 ペート。 ペート。 ・ト。 説明できる。 説明できる。 説明できる。 こ
前期 モデルコ 分類		10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	企業倫理 技術者と法 発表(1) 発表(2) 環境倫理、ヒューマ研究倫理 期末試験 17週:試験解説・3 学習内容と到達 学習内容	マン・エラー 発展授業 : 目標	<u></u> 責任、リスクマ	科集企 技課 技課 環題 研 試	と倫理について理解 と倫理について理解 心理学について理解する と法について理解する と法について理解する と法について理解する に関わる事件・ボート。 倫理に関わる事件・ボート。 理にレューマン・エート。 理について理解する 間:50分	(する。課題レオ はする。課題レポートでは、課題レポートでは、 は、課題レポートでは、では、 事故について記 を表していてでは、 について理 は、、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	ペート。 ペート。 ペート。 ・ト。 説明できる。 部町できる。 課解する。課 できる。 できる。 できる。
モデルニ	コアカリキ	10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 トユラムの 対野	企業倫理 技術者と法 発表 (1) 発表 (2) 環境倫理、ヒューマ 研究倫理 期末試験 17週:試験解説・多 学習内容 学習内容	マン・エラー 発展授業 三目標 学習内容の到達目相 説明責任、製造物調 に関する基本的な調 現代社会の具体的な 関連させ、技術者	責任、リスクマ. 責任事項を説明 よ諸問題を題材	科集企技決課 環題 研 試 ジき、 なでに、 なが に の 倫者 者レ 者レ 倫ポ 倫 時 と る 自 ら 見 の に の ら 見 の に の の の の の の の の の の の の の の の の の	と倫理について理解と倫理について理解すると法について理解すると法について理解すると法について理解するとはについて理解する。 はないででは、一下のは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、とは、となど、技術者の行いなど、技術者の行いなど、技術者の行いなど、	解する。課題レオ はする。課題レポートでは、課題レポートでは、課題レポートでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	ペート。 ペート。 ペート。 ・ト。 は明できる。 は明できる。 は明できる。 な明できる。 な明できる。 は明できる。 は明できる。
モデル <u>-</u> 分類	コアカリキ	10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 トユラムの 分野	企業倫理 技術者と法 発表 (1) 発表 (2) 環境倫理、ヒューマ研究倫理 期末週:試験解説・多 学習内容 学習内容 は你的財子と到達 学習内容	マン・エラー 発展授業 三目標 学習内容の到達目標 説明責任、製造物調に関する基本的な調現代社会の具体的な	賃任、リスクマ 賃任事項を説明 よ諸問題を題材 命理観に基づい	科集企技技課環題研試 ジき、、学団業術 術題術題境レ究 験 メる 自取 メる 自取 ショウス いっこう しゅく かんしん いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう	と倫理について理解と倫理について理解すると倫理について理解すると法について理解すると法について理解するとはについて理解する。 はないでは、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下	はする。課題レオ はする。課題レポートでは、課題レポートでは、課題レポートでは、ではでいていまります。 事故についてもいます。 第世についてもいます。 第世についてものでは、 第世にのいでは、 第一にのいでは、 第一にのいでは、 第一にのいでは、 第一にのいでは、 第一にのいでは、 第一にのいでは、 第一にのいでは、 第一にの	ペート。 ペート。 ペート。 い。 ・ト。 は明できる。 は明できる。 は明できる。 は明できる。 は明できる。 は明できる。 は明できる。 は明できる。 は明できる。 は明できる。 は明できる。

					環境問題の現状に 術が地球環境や社会	ついての基本的な 会に及ぼす影響を	事項について把握し 説明できる。	/、科学技	4	前14
					国際社会におけるきる。	技術者としてふさ	わしい行動とは何か	を説明で	4	前10
					技術者の社会的責何時(コンプライア	任、社会規範や法でンス)の重要性にご	令を守ること、企業 ついて説明できる。	内の法令	4	前5,前6,前 11,前12,前 13
					全ての人々が将来 実現するために、 明できる。	にわたって安心し 自らの専門分野か	て暮らせる持続可能 ら配慮すべきことか	な開発を 何かを説	4	前5,前14
					技術者を目指す者 資源の維持、災害の くことの重要性を	として、平和の構造の防止などの課題 認識している。	築、異文化理解の推 に力を合わせて取り	進、自然)組んでい	4	前7,前8,前 9,前12,前 13
					科学技術が社会に- を説明できる。	与えてきた影響を	もとに、技術者の役	割や責任	4	前1,前2,前 5,前7,前 8,前9,前 12,前13
					法令やルールを遵	守した行動をとれ	る。		4	前5,前15
分野横断的 能力	態度・志 性(人間ナ	向 態 D) 性	度・志向	態度・志向 性	技術が社会や自然負っている責任を		果を認識し、技術者 る。	が社会に	4	前1,前2,前 5,前7,前 8,前9,前14
					企業には社会的責	任があることを認	識している。		4	前1,前2,前 10
評価割合										
	試験		3	養	課題レポート	小テスト	ポートフォリオ	その他	合語	it
総合評価割合	à 40		2	.0	30	10	0	0	10	0
基礎的能力	40		2	.0	30	10	0	0	10	0
専門的能力	0		C)	0	0	0	0	0	
分野横断的能	力 0		C)	0	0	0	0	0	

 	到工業高等	· 車門学	校開講年	度 令和03年度	(2021年度)	授	業科目 総合英	語	
科目基礎					, , , , , ,				
<u>17 口坐</u> 科目番号		0003			科目区分				
<u>行口田与</u> 授業形態		講義			単位の種別と	·畄冶粉			
			1一般利田			- 半1以刻			
開設学科	•		4一般科目		対象学年 週時間数		<u>専1</u> 4		
開設期	(h.l.)	1st-Q		D 1: 8885# 3	週時间数		4		
教科書/教				Reading 問題集 7					
担当教員	•	遠藤 /	珍 左						
到達目									
専の学習 聞き取り 識・技能	・教育到達 ができ、問題 を修得する	目標との問題を正確に	₹連を,到達目標, こ解くことができる	ve English) この科E 教科の重み, 学習・ S知識・技能を修得す て聞き取った音を正確	教育目標との関連 る ② 与えられた	車の順で次に た課題につ	(E) と主体的にかれ こ示す. ① 与えられ いて聞いた音を正確	かわる。各到達目 れた課題について 確に書き取ること	1標と長岡高 に読み取りや とができる知
ルーブ	リック								
		Ŧ	里想的な到達レベル	レの目安 標準的な到	達レベルの目安	最低限の	到達レベルの目安	未到達レベルの	0目安
評価項目	1	ā Fi	ラえられた課題にて か取りや聞き取りが 問題を正確に解くて きる知識・技能を何いる	ができ、 み取りや聞	課題について読]き取りができ、 ù正確に解くこと]識・技能を修得	み取りや 問題を解	た課題について読 聞き取りができ、 くことができる知 を修得している	左記に達してい	ない
評価項目	2	<u>!</u>	ラスられた課題にでいた音を正確に書き とができる知識・損 手している	ついて聞 与えられた き取るこ いた音を概	:課題について聞 ね正確に書き取 きる知識・技能 いる	しいた音を	た課題について聞 書き取ることがで ・技能を修得して	左記に達してい	ない
評価項目	3	la	ラえられた課題にて き取った音を正確に ることができる	ついて聞 与えられた ご発音す き取った音 音すること	課題について聞 を概ね正確に発 ができる	与えられ; き取った ができる	た課題について聞 音を発音すること	左記に達してい	ない
学科の	到達目標項	頁目との)関係						
<u></u> 教育方》									
	Д (1		- トスローギ ハン		トブ心亜レナカス		<u> </u>	フナャートル・ディギ	
既要		ヨン	- シャドーイング)	ハックヘニングを11フェルについて学習する。	上し必安して11る	3大山武 1人月	ヒ(ワイニング・グ	イナドニング・ブ	101-2
主意点 受業の!	属性・履修	復習す TOEI 発話に	「ることが必要です Cで獲得できるスコ 「常に意欲的に取り	目のため、事前・事後 「。]アの向上を目的とし)組むことが要求され	 ているため、主体				
	ティブラーニ		□ ICT 利月		□ 遠隔授業	 対応	□ 実		 員による授
			12 20: 13/					(1)51 <u>(1)</u> 5(-) (2) (2) (3)	7(1-01-01)
受業計i	画								
X X III	<u> </u>	週	授業内容			油ブレ	 の到達目標		
		1週	シラバス説明	理論 / Listening ディ	クテーション	左記を精読の習方法	の到底口標 理解する. 方法を理解する / : を理解する テーションについ ⁻		ンを使った
		2週	Reading スキ Listening 音の	ミング / スキャニンク)同化現象 / 音の脱落	Ţ	情報収録 て理解	ング, スキャニンク 集の方法とその際(する. ング / スキャニン	こ気を付ける情報	保倫理につい
		3週	品詞と文型 Part1:写真描	1写問題		TOEIC	の品詞と英文の文章 Part1の問題の出 Part1についての	題形式を理解する	たる 3
前期	1stQ	4週	Part2:写真描 Part1:写真描	写問題		TOEIC	Part1の問題の出版 Part1についての記 Part2の問題の出版	課題	
		5週	Part2: 応答問 Part3: 会話問			TOEIC TOEIC	Part3の問題の出版 Part2,Part3につい	題形式を理解する ハての課題	<u> </u>
		6週	Part4:説明文 Part5:短文穴			TOEIC	Part4の問題の出版 Part5の問題の出版 Part4,Part5につい	題形式を理解する	
		7週	Part6:長文穴 Part7:文章詞	は は は は は は は は は は は は は は り は り は り		TOEIC	Part6の問題の出版 Part7の問題の出版 Part6,Part7につい	題形式を理解する	
		L							
		8週	総合演習 前期末試験			る	形式での全てのPa 間:50分	rtの解き方や対策	後を総復習 す
 ┺╤╜┄	コアカリ:		前期末試験	到達日煙		る	形式での全てのPa 間:50分	rtの解き方や対象	策を総復習 す
	コアカリニ	キュラム	前期末試験 の学習内容と		日煙	る			
モデル:分類	1 77 . 3	キュラム 分里	前期末試験 の学習内容と 学習内容 ・ 学習内容 英語運用	学習内容の到達	よう、句・文にお	試験時		到達レベル	

				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた 新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適 切な運用ができる。	4
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じ た文法や文構造を習得して適切に運用できる。	4
				日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	4
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	4
			英語運用能	説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わる ように音読ができる。	4
			力の基礎固め	平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報 を読み取ることができる。	4
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、 100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	4
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	4
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	4
				自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	4
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	4
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、 学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	4
				毎国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外 で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	4
			英語運用能力向上のた	関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	4
			めの学習 	関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる 平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答など のやりとりができる。	4
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	4
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	4
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適 切に用いることができる。	4
			グローバリ	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる 寛容さが必要であることを認識している。	4
	工学基礎	ゼーション ・異文化多 文化理解	ゼーション・異文化多文化理解	様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	4
		人们生所	X104/4	異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	4
				日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。 他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で	4
				正しい文章を記述できる。 他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	4
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	4
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	4
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相 づち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。	4
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	4
				合意形成のために会話を成立させることができる。	4
分野横断的 能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実 践できる。	4
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要が あることを知っている。	4
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について 自己責任が発生することを知っている。	4
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	4
				目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	4
				あるべき姿と現状との差異(課題)を認識するための情報収集ができる	4
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	4

					グループ 合理的な の発想法	プーク、ワークショ 思考方法としてブレー 、計画立案手法など	ップ等による課題解 インストーミングや 任意の方法を用いる	決への論理的・ KJ法、PCM法等 ことができる。	4		
					どのよう	な過程で結論を導い	たか思考の過程を他	者に説明できる	4		
					適切な範	囲やレベルで解決策	を提案できる。		4		
					事実をも	とに論理や考察を展	開できる。		4		
					結論への る。	過程の論理性を言葉	、文章、図表などを	用いて表現でき	4		
					他者のお	かれている状況に配	慮した行動がとれる	0	4		
					自身の将	来のありたい姿(キャ	ァリアデザイン)を明	確化できる。	4		
ļ	態度・記	志向	態度・志向	態度・志向	キャリア 識してい	の実現に向かって卒 る。	業後も継続的に学習	する必要性を認	4		
	性(人間	力)	性	性	高専で学 ように活	んだ専門分野・一般 用・応用されるかを	科目の知識が、企業 説明できる。	や大学等でどの	4		
					コミュニ 能力」の	ケーション能力や主 必要性を認識してい	体性等の「社会人と る。	して備えるべき	4		
3	総合的な 習経験な 造的思え	よ学 と創 考力	総合的な学 習経験と創 造的思考力	総合的な学 習経験と創 造的思考力	公衆の健から課題	康、安全、文化、社: 解決のために配慮す	会、環境への影響な べきことを認識して	どの多様な観点 いる。	4		
評価割合											
		試験		小テスト		提出物	ポートフォリオ	その他		合計	
総合評価割合		60		30		10	0	0		100	
基礎的能力		60		30		10	0	0		100	
専門的能力		0		0		0	0	0		0	
分野横断的能:	カ	0		0		0	0	0		0	

長岡	工業高等	専門学	校	開講年度	令和03年度	₹ (20)21年度)	į	授業科目	日本言	語文化	
科目基礎	情報											
科目番号		0004				;	科目区分		一般/選	択		
授業形態		講義				j	単位の種別と	単位数	学修単位	: 2		
開設学科		専攻科	4一般科	目			対象学年		専1			
開設期		後期				j	週時間数		2			
教科書/教	材	担当者	が指示	するテキスト・	担当者による	プリン	· 卜					
担当教員		猪平	直人,堀	口 真利子								
到達目標	Ē											
本科目は第 達目標と、 の順で以下 文芸作品の 30%(A1)	94学期に実成績評価上 成績評価上でに示す。 ① の基本的な説	€施する。 ニの重みイ 〕論理的な	授業計 付け,各 公文章作	■成の能力と、明	売み替えること。 間高専の学習・ 間快な口頭発表	の能力	を身につける	。40%	(B1)、②日	本的・伝	が的に関わる。こ 、学習・教育目 統的な思考様式 人間心理を理解す	に基づく古典
ルーブリ	リック	Ŧ	里想的な	(到達レベルの目	景楽的な	:到達し	/ベルの目安	基礎的	な到達レベル	レの目安	未到達レベルの	 D目安
	Z章作成の能 1頭発表の能	記力と 記力と に	能力と、	は文章を正確に 明快でわかり き表の能力が身は る。	す 能力と、	明快で表の能	で正確に書く ごわかりやす ど力を概ね身	、口頭	な文章を書く 発表の基本的 つけている。	りな能力	左記に達してい	いない。
日本的・位に基づくさ本的な読所	伝統的な思考 5典文芸作品 4	の基 [∃本的・	さの鑑賞を通じて 伝統的な思考様 【解している。	古典文学 議式 日本的・ を概ね理	伝統的	で通じて、 な思考様式 いる。	日本的	学の鑑賞を通り (単一) では (単一)	思考様式	左記に達してい	いない。
	F品に提示さ)問題や現代 理を理解	は特有 は	み取る高	学の内容を的確に 高度な読解力・銀 こつけている		準的な	腎を的確に読 ↓読解力・鑑 けている	基本的	学の内容を記 な読解力・鎖 けている		左記に達してい	ない。
	」達目標項				,			•			•	
教育方法		<u>\ </u>	12 (17)									
概要	743	鑑賞に	こよって 発信する	の講読と、古典 、人文学的な教 力を養成する。 目:国語・文学	検を深化させる オムニバス方	るとと 式で開	もに、口頭発 講(猪平7	芸全般に表・レス 表・レス 5回、場	こ対する理解 ポート作成を 屈口 7.5回	を深める 通じて、]。ガイダ	。受講者の主体 自らの考えを明 ンスのみ 2 名で	 的な読解・ 快かつ論理 実施)。
授業の進め	方・方法	指示す	「る。発	口頭発表を行い 表担当学生は、 「週ごとの到道	事前に口頭発	表用の	資料を作成し	、提出?	習形式を取る する。この授	。取り扱 業は学修	う作品について 単位科目のため	は開講時に 、事前・事
注意点				、は、初回授業時 語辞典などの参				トを配わ	布する。作品	は事前に	各自通読し、必	要に応じて
授業の属	性・履修	圣上の区	分									
☑ アクテ	ィブラーニ	ング		□ ICT 利用			□ 遠隔授業対	付応		□実	務経験のある教員	員による授業
授業計画	Ī											
汉未可臣	1	週	授業					调ご	 との到達目標	<u> </u>		
											 ∃当者を決定する	 5-
		1週	ガイ	(ダンス・発表用	ジ式の確認と発	表担当	4者の決定 	次回	発表予定古典	東文芸作品	品の読解と考察の いて基本的な事項)課題1
		2週	古典	東文芸作品演習(1	L)					_	品の読解と考察の	
		3週	古典	東文芸作品演習(2	2)			を深次回	める。 発表予定古典	東文芸作品	基づいて討議を 品の読解と考察の)課題3
		4週	古典	東文芸作品演習(3	3)			を深 次回	める。 発表予定古典	東文芸作品	Ξ基づいて討議を 品の読解と考察の)課題4
	3rdQ	5週	古典	東文芸作品演習(4	1)			を深 次回	める。 発表予定古史	中文芸作品	三基づいて討議を 品の読解と考察の)課題 5
後期		6週	古典	東文芸作品演習(5	5)			を深	める。		基づいて討議を品の読解と考察の	
		7週	古典	東文芸作品演習(6	5)			を深	める。		:基づいて討議を 品の読解と考察の	
		8週	古典	東文芸作品演習(7	7)			を深	作品について める。 文芸に関する		□基づいて討議を >課題 1	行い、考察
		9週	近現	見代文芸作品演習	₫(1)			本的	担当者を決定 な事項を理角 と考察の課題	解する。 次	F品の背景、作者 マ回発表予定近代	について基 文芸作品の
	4thQ	10週	近現	見代文芸作品演習	₫(2)			作品次回	の背景、作者 発表予定近付	者について 代文芸作品	基本的な事項を 品の読解と考察の	・理解する。)課題 2
		11週	近現	見代文芸作品演習	<u> </u>			を深	める			

12浏	週	近現代文芸作品演習(4)	担当作品について、発表に基づいて討議を行い、考察 を深める 次回発表予定近代文芸作品の読解と考察の課題4
13浏	週	近現代文芸作品演習(5)	担当作品について、発表に基づいて討議を行い、考察 を深める 次回発表予定近代文芸作品の読解と考察の課題 5
14过	週 ;	近現代文芸作品演習(6)	担当作品について、発表に基づいて討議を行い、考察 を深める 次回発表予定近代文芸作品の読解と考察の課題 6
15浏	週	近現代文芸作品演習(7)	担当作品について、発表に基づいて討議を行い、考察 を深める 近代文芸に関するレポート課題 2
16说	週		

モデルコス	アカリキュ	1	内容と到達	目標			
分類	1	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
				論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	4	後9,後 10,後11,後 12,後13,後 14,後15	
				妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の 妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	4	後9,後 10,後11,後 12,後13,後 14,後15
						文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	4
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	4	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 8,後9,後 10,後11,後 12,後13,後 14,後15	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	4	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 8,後9,後 10,後11,後 12,後13,後 14,後15	
基礎的能力	人文・社会 科学	国語	国語	社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	4	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 8,後9,後 10,後11,後 12,後13,後 14,後15	
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	4	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 8,後9,後 10,後11,後 12,後13,後 14,後15	
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	4	後9,後 10,後11,後 12,後13,後 14,後15	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な 情報を収集できる。	4	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 8,後9,後 10,後11,後 12,後13,後 14,後15	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	4	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 8,後9,後 10,後11,後 12,後13,後 14,後15	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	4	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 8,後9,後 10,後11,後 12,後13,後 14,後15	

			作成した報告・論文 頭発表することがで	ての内容および自分 ごきる。	↑の思いや考えを、	的確に口	4	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 8,後9,後 10,後11,後 12,後13,後 14,後15
			課題に応じ、根拠に	こ基づいて議論でき	₹る。		4	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 8,後9,後 10,後11,後 12,後13,後 14,後15
			相手の立場や考えを や考えをまとめるこ	E尊重しつつ、議論 ことができる。	を通して集団とし	ての思い	4	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 8,後9,後 10,後後13,後 12,後15
			新たな発想や他者 <i>0</i> するための手法をす)視点の理解に努め ミ践できる。	o、自分の思いや考	えを整理	4	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 8,後9,後 10,後11,後 12,後13,後 14,後15
評価割合	_		.					
	レポート	発表					合	
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	10	
基礎的能力	30	20	0	0	0	0	50	1
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	30	20	0	0	0	0	50	

長田	计坐宫等	専門学校	開講年度	令和03年度 (2	2021年度)	拇	業科目	欧米文	 ·化論			
<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>	13/1103 1 文(2	-021十/文)	12	<u> </u>		. TOPIN			
科目番号	K I F T X	0005			科目区分		一般/選	·····································				
授業形態		講義			単位の種別と単位数 学修単位:							
開設学科		専攻科一			単位の種別と単位数 子修単位 対象学年 専1							
開設期		後期	ם דין אני		週時間数		2					
<u>////////////////////////////////////</u>	 カネオ		 時にテキストを示す	· 適宜 理題資料:			12					
担当教員	X1/2J	十田泰子		。旭丘、林咫貞行	<u>で用ロリカタ。</u>							
<u>123数页</u> 到達目標		工田 氷 1										
この科目(この科目(①アメリス ②イギリス ③欧米文(本科目は)	は長岡高専のの到達目標の到達目標の の到達目標のカ文学につい ス文学につい 化に関してが 第3学期・第	の教育目標の と,成績評価 ハて.作品と	Western Culture) (B)と主体的に関わ 上の重み付け,各到 文化的背景を批評的 文化的背景を批評的 ことについて発表 する。	達目標と長岡高専 に分析する35%(F	の学習・教育到 31)·(B3)·(B4) 31)·(B3)·(B4))·(B4)	達目標と	の関連を以	人下の表に	示す.			
ルーブリ	<u> </u>	1				1			1			
		理想	的な到達レベルの目	安 標準的な到達	レベルの目安	最低限の	到達レベル	レの目安	未到達レベルの目安			
アメリカジ	文学に関する	る検討 品と 視点	リカ文学について, 文化的背景を、独自 から批評的な分析を することができる。	■の「合くさん公表表	について,作 景を批評的に ができる。	品と文化	文学につい 的背景を抗 ことが概ね	比評的に	左記に達していない。			
イギリス:	文学に関する	る検討 品と 視点	リス文学について, 文化的背景を、独自 から批評的な分析を することができる。	の コキング人	について, 作 景を批評的に ができる。	品と文化	文学につい 的背景を持 ことが概ね	比評的に	左記に達していない。			
欧米文化(に関する考察	察 視点 につ	文化に関して、独自から分析・考察したいて詳細に発表するできる。		いて発表する	したこと	に関してか についてき ねできる。	発表する	左記に達していない。			
学科の到	到達目標項	頁目との関	係									
教育方法	去等											
注意点	め方・方法	的に分析 ○関連 課題とな 献を検討	する視点を獲得する する科目: 総合英 る原書文献について すること. 議論に主 レポート課題などを	。 語(前期履修), 事前に十分に内容: 体的に参加し,積	実用英語(次年	度履修)			ど多くの要素を含んでいる ぶことで知識を深め、批評 により多面的な視点から文 科目のため、事前・事後学			
	ライブラーニ		☑ ICT 利用		1							
授業計画	 画				│□ 遠隔授業対	对心 		□ 実	務経験のある教員による授業			
					□ 遠隔授業対	对心		□実	務経験のある教員による授業			
		週			□ 遠隔授業対		の到達目		務経験のある教員による授業			
		11	授業内容 概要説明 アメリカ文学に関す	「る文献の紹介	│□ 遠隔授業対	週ごと 課題と・発表	なる原書3 を行う。	票文献につい	いて、批評的な視点から分析			
		1週	概要説明			週ごと 課題と表 次回 課発表 実題と表 実 発表	なる原書! を行う. 業で取り! なる原書! を行う.	票 文献につい 及う作品詞 文献につい				
		1週	概要説明 アメリカ文学に関す	「る文献講読と検討	(1)	週ごととま授と表授と表授と表授と表表と表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を	なる原書: を行う。 業で取り打なる原書: を行うのませる。 業で取り打なる原書: なるで取り打なる原書:	票 文献につい 及う作品詞 文献につい 及う作品詞 文献につい	いて、批評的な視点から分析 構読を課題とする. いて、批評的な視点から分析			
	3rdO	1週 2週 3週	概要説明 アメリカ文学に関す アメリカ文学に関す	する文献講読と検討する文献講読と検討	(1)	週 課・次	なを業 なを業 なを業 なを なたで取 原うの取 原うの取 原うの取 原うの取 原うの取 原うの取 原うの取 原うの	票 文献につい 及う作品詞 文献につい 及う作品詞 文献につい 及う作品詞 な対につい	いて、批評的な視点から分析 構読を課題とする。 いて、批評的な視点から分析 構読を課題とする。 いて、批評的な視点から分析			
後 期	3rdQ	1週 2週 3週 4週	概要説明 アメリカ文学に関す アメリカ文学に関す アメリカ文学に関す	する文献講読と検討 する文献講読と検討 する文献講読と検討	(1) (2) (3)	週 課・次	なを業 なを業 なを業 なを 高行で る行で る行で る行で る行で る行で る行で る行で る行で る行で る	票 文献につい 及う作品詞 文献につい 及う作品詞 文献につい 及う作品詞 文献につい 及う作品詞 文献につい	いて、批評的な視点から分析 構読を課題とする. いて、批評的な視点から分析 構読を課題とする. いて、批評的な視点から分析 構読を課題とする. いて、批評的な視点から分析			
後期	3rdQ	1週 2週 3週 4週 5週	概要説明 アメリカ文学に関す アメリカ文学に関す アメリカ文学に関す	する文献講読と検討する文献講読と検討する文献講読と検討する文献講読と検討	(1) (2) (3) (4)	週 課・次	なを業 なを業 なを業 なを業 なを業 なを業 なを業 なを業 なを業 なをま なんで る行で る行で る行で る行で る行で る行で ほう行い かい かい かい かい かい まいり 書いり 書いり 書いり 書いり 書いり 書いり 書いり 書いり 書いり 書		いて、批評的な視点から分析 構読を課題とする。 いて、批評的な視点から分析 構読を課題とする。 いて、批評的な視点から分析 構読を課題とする。 いて、批評的な視点から分析 構読を課題とする。 いて、批評的な視点から分析 を課題とする。 いて、批評的な視点から分析 を課題とする。			
後期	3rdQ	1週 2週 3週 4週 5週 6週	概要説明 アメリカ文学に関す アメリカ文学に関す アメリカ文学に関す アメリカ文学に関す	する文献講読と検討 する文献講読と検討 する文献講読と検討 する文献講読と検討	(1) (2) (3) (4) (5)	週 課・次	なを業 なを業 なを業 なを業 なを業 かんを ひんを なん こうれん いっぱい ほうり はい	票文 及う作品語した ひかん ひかん ひかん かんしん ひかん かんしん かんしん かんしん かんし	いて、批評的な視点から分析 構読を課題とする。 いて、批評的な視点から分析 構読を課題とする。 いて、批評的な視点から分析 構読を課題とする。 いて、批評的な視点から分析 構読を課題とする。 いて、批評的な視点から分析 を課題とする。 いて、批評的な視点から分析 を課題とする。			
後期	3rdQ	1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	概要説明 アメリカ文学に関す アメリカ文学に関す アメリカ文学に関す アメリカ文学に関す アメリカ文学に関す	する文献講読と検討 する文献講読と検討 する文献講読と検討 する文献講読と検討 する文献講読と検討 なくないできます。	(1) (2) (3) (4) (5) いて発表(1)	週 課・次	なを業 なを業 なを業 なを業 なを業 カ・カ カ・原う取 原う取 原う取 原う取 原う取 原う取 原う取 原う取 原う取 原う取	票文 及文 及文 及文 発文 発つ 関うの はい かく ひえ ひえ の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	いて、批評的な視点から分析 講読を課題とする。 いて、批評的な視点から分析 講読を課題とする。 いて、批評的な視点から分析 講読を課題とする。 いて、批評的な視点から分析 講読を課題とする。 いて、批評的な視点から分析 定課題とする。 いて、批評的な視点から分析 定課題とする。 いて、批評的な視点から分析 定課題とする。 とはいて、批評的な視点から分析			
後期	3rdQ 4thQ	1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	概要説明 アメリカ文学に関す アメリカ文学に関す アメリカ文学に関す アメリカ文学に関す アメリカ文学に関す アメリカ文学に関す	する文献講読と検討 する文献講読と検討 する文献講読と検討 する文献講読と検討 する文献講読と検討 な文献講読と検討 な文献講読と検討	(1) (2) (3) (4) (5) いて発表(1) いて発表(2)	週 課・次	なを業 なを業 なを業 なを業 なを業 カ・カ カ・業 なをのうれ 原う取 原う取 原う取 原う取 原う取 原うの原うので る行で る行で る行で 文 文 で る行原う取 原う取 原う取 原う行 原う行 学 学 取 原う書・り 書・り 書・り 書・う 書・う に に り 書・2	票文 及文 及文 及文 発文 発つ 関つ 及文 の の い か の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で の は で か い か い か い か い か い か い か い か い か い か	いて、批評的な視点から分析 構読を課題とする。 いて、批評的な視点から分析 構読を課題とする。 いて、批評的な視点から分析 構読を課題とする。 いて、批評的な視点から分析 構読を課題とする。 いて、批評的な視点から分析 定課題とする。 いて、批評的な視点から分析 定課題とする。 と評的な視点から分析 を課題とする。 と課題とする。 とままない。			

		11)	問	イギ!	(ギリス文学に関する文献講読と検討(3) 課題となる原書文献について、批評的な視点・発表を行う。 次回授業で取り扱う作品講読を課題とする.							
		12ì	周	イギ!	リス文学に関す	る文献講読と検討	(4)	課題となる原書文献について、批評的な視点から分析 ・発表を行う。 次回授業で取り扱う作品講読を課題とする。				
		13)	周	イギ!	リス文学に関す	る文献講読と検討	(5)	イギリス文学につい を行う. 次回授業で行う発			ら分析・発表	
	14週 イギリス文学の作家と作品、						ハて発表 (1)	イギリス文学について、批評的な視点から分析・発表を行う. イギリス文学に関するレポートを作成する.				
							イギリス文学について、批評的な視点から分析・発表を行う. イギリス文学に関する発表の振り返りを課題とする.					
		16ì	周	発展技	受業			授業の振り返りを行う.				
モデルコ	アカリ:	キユ	ラムの	学習	内容と到達	目標						
分類			分野		学習内容	学習内容の到達目標	<u> </u>			到達レベル	/ 授業週	
基礎的能力	人文・ 科学	社会	英語		英語運用能 力の基礎固 め	母国以外の言語や3 面で積極的にコミニ	₹化を理解しよう。 Lニケーションを®	とする姿勢をもち、 図ることができる。	実際の場	4	後1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後 7,後8,後 9,後10,後 11,後12,後 13,後14,後 15,後16	
評価割合						_		_				
試験			レ	ポート	発表	態度	ポートフォリオ	その他	合	計		
総合評価割合	<u></u> 0			70		20	10	0	0	10	00	
基礎的能力	0			70		10	0	0 0		80)	
専門的能力	0			0		0	0	0	0	0		
分野横断的	能力 0			0		10	10	0	0	20)	

長岡]丁業高等	 專門学校		令和03年度 (2		投	 選業科目	地 地	 業と技術		
科目基礎		ᇄᄀᄀᅼᄿ	又\ 十七 四UN	╷╷┐⊔UU⋺ ┯ /又(∠	·····································	در ا	(本)コロ	-' / //土	かし」入口		
科目番号	C I FIX	0006			科目区分			ン/修			
授業形態		講義				当点类	一般/必修				
開設学科			业别日			単位の種別と単位数 学修単位: 2					
		専攻科一般	IXT ⁺ H		対象学年		専1				
開設期	1++	ガ期 プリント等			週時間数		2				
教科書/教	<u> </u>										
担当教員		田中 聡,陽	声出 修								
到達目標											
目標と、5	成績評価上(の重み付け、1	Local Industries a 各到達目標と長岡高 産業や技術についる	「専の学習・教育到)	達目標との関連	塵を以下に	:示す。①タ	F)と主体的 新潟県内の	的に関わる。この科目の到達 D主要産業と技術の状況を理		
ルーブリ	ノック	1				1			1		
			的な到達レベルの目			- 5-11-11-1)到達レベ		未到達レベルの目安		
評価項目1	L	の状況	県内の主要産業と技 況を詳細に理解する	る。 の状況を理解	する。	の状況を	の主要産品の主要産品の主要を	する	左記に達していない。		
評価項目2	2	いて	県内の産業や技術に 詳細に調査・分析を 発表できる。	つ 新潟県内の産 行 いて調査・分 表できる。	業や技術につ 析を行い、発	いて概ね	Nの産業や D調査・分 ごきる。	技術につ 析を行い	左記に達していない。		
学科の至	到達目標以	頁目との関							•		
教育方法	去等										
概要	め方・方法	。この科E 手法術者及で 2名の教連 地域産業の 職権を利用し	目は、新潟県内の企 ついて、課題解決型 び経営者から技術管 が複数教員担当方さ る科目:歴史学、哲 と技術について、 が した取材・事前・事後	業で技術管理、営業のグループワークに理、事業運営手法をは、(毎回の授業ををです)、経済学(前年で)が、とに新潟にでき、分析・取材の原学習としてレポー	業などの実務を こより授業を またりの実業を りまたの りまた。 は りまた。 は りまた。 は りまた。 は りまた。 は りまた。 は りまた。 は りまた。 は りまた。 は りまた。 は りまた。 は りまた。 は り、 は り、 は り、 は り、 は り、 は り、 は り、 は り	担当してで で 実習形式 時に担当 は自で調稿 DPR原稿 の の の の の の の の の の の で の で の の で の	いた教員がある。またの授業を行する科目) (後期履修 ・分析することでは、 ・分析することでは、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	がその経験 た、地域企 行うもので で行う。) るとともに し、これを	経済について理解を深める を活かし、企業の事業運営 業の取材をとおして、実務 ある。また、この科目は、 こ、企業を訪問、又はWeb会 を発表する。この科目は学修		
 注意点			は学修単位科目のた ことが必要です。	め、事前・事後学	当として、 週 	ことの到	達曰標」	闌にある課	題等を事前・事後に予習・ 		
	記性 . 屋 /	 多上の区分									
					☐ 7∓112+12·₩-1	5+r 5			数奴段のセフ教皇にして極業		
凶 アクテ	-ィブラーニ	<i>-)</i> · <i>)</i>	□ ICT 利用		□ 遠隔授業対	יחיוני		凶 夫	務経験のある教員による授業		
	<u> </u>										
		週	授業内容			週ごと	この到達目	 標			
		1週	ガイダンス ・授業内容説明 ・チーム編成発表(・取材企業発表	(暫定リーダー)		R2年度の特別対応について 地域産業と技術について学ぶことの意義を理解する。 新潟県の中小企業,中堅企業の現状に関する課題					
		ادر ا	・工程計画・情報収集①・原稿レイアウト検(課題①:工程計画	記 記の報告)		ケーシ	ノヨン手段	(インフラ	かするための組織とコミュニ 5) を構築する。 こ関する課題		
		3週	・情報収集② ・原稿レイアウト検	計②		、適切	」な情報収	集、論理的	トをチームで決定するために りな議論、合意形成ができる 関する課題1		
	1stQ	4週	・原稿レイアウト検・事前取材方法の検 (課題②:事前取材	討		。対象	Dな情報収 R企業の情	集、論理的 報収集に関	へをチームで決定するために りな議論、合意形成ができる 関する課題2		
		5週	・取材方法の連絡・	調整		取材力	3針、原稿 Dt.x/唐初四	レイアウト	をチームで決定するために		
祖前			(企業の本企画担当			。対象	な情報収入の情報の情	報収集に関	りな議論、合意形成ができる 関する課題3		
前期			・事前取材(企画担	(者へ)	画)	。対象 取材労 先の合 る課是	・企業の情・の条件を・意を得る・	報収集に <u>関</u> 確認し、耳 ことができ	関する課題3 収材の実施体制を説明し取材 きる。事前取材報告書に関す		
前期			・事前取材(企画担	(者へ) 当者との打合せ) 対の経過と本番の計		。対象 取材労 先の名 る課 企業担 情報を	R企業の情 この条件を 合意を得る 国当者に事 ご論理的に	報収集に関確認し、耳ことができます。 対し、前取し、前別し、記ができます。	関する課題3 Q材の実施体制を説明し取材		
前期		6週	・事前取材(企画担 (課題③:事前取材 ・事前取材に基づく	(者へ) 担当者との打合せ) 対の経過と本番の計 取材本番の検討①		。 取先る 企情。 事修 かん	を企業の情 たの条件を 高意を得る 登当者に事 を 計問・取 を 対ででがで	報収集に、 耳を できない はいました できる いっぱい はい	関する課題3 収材の実施体制を説明し取材 きる。事前取材報告書に関す コンセプトの説明と必要な 十画と整合することができる		
前期		6週	・事前取材(企画担(課題③:事前取材に基づく・必要素材の検討・事前取材に基づく・必要素材の検討	(者へ) 担当者との打合せ) 対の経過と本番の計 取材本番の検討①		。 取先る 企情。 事修企 企課 対 材の課 業報企 前正業 業題	Recomplete Recomplet	報確こ 前説材情き計 材解収認と 取明計 報る画 しず 材し画 を。書、る。 ここま 作 が ぶんしょう はんしょう はん かい	関する課題3 収材の実施体制を説明し取材きる。事前取材報告書に関す コンセプトの説明と必要な 十画と整合することができる 作成に関する課題1 こ、コンセプトや取材方針の		
前期	2ndQ	6週 7週 8週	・事前取材(企画担(課題③:事前取材に基づく・必要素材の検討・事前取材に基づく・必要素材の検討・事前取材に基づく・必要素材の検討・	(者へ) 担当者との打合せ) 対の経過と本番の計 取材本番の検討①		。 取先る 企情。 事修企 企課企 取える かん がん では 一葉 の では かん では かん では かん では かん では かん でん かん	を企業の情を含する。 は一般では、大きないでは、まないでは、大きないでは、まないではないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないで	報確こ 前説材 情き計 材解記 をて収認と 取明計 報る画 しす録 通理に 、で し、書 基 作 新。に てを 通り といって といっこう はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいいい はいいいいい はいいいいいい	関する課題3 収材の実施体制を説明し取材きる。事前取材報告書に関す コンセプトの説明と必要な 十画と整合することができる 作成に関する課題1 こ、コンセプトや取材方針の 成に関する課題2 関県内の産業と技術の現状と		

	1	1週	・原和	稿作成			取材成果の整理を通して、地域産業と技術、企業が抱える課題について理解を深める。成果を基にPR原稿を作成するために、論理的な議論、合意形成ができる。原稿作成に関する課題2				
	1	12週	• 原和	稿作成			取材成果の整理を通して、地域産業と技術、企業が抱える課題について理解を深める。成果を基にPR原稿を作成するために、論理的な議論、合意形成ができる。				
	1	13週	・ク	ライアントへ砧	在認・評価		原稿作成に関する。 取材して得た情報が 論理的に説明し、 きる。修正原稿作	から、PR原 クライアン	トの評価を得	プト、構成を 引ることがで	
	1	L 4 週	・ク: (課題	ライアントへG 題④:成果提b	確認・評価・修正 出)		クライアントの評(ら修正を加えること 成果物の作成に関	面を理解し とができる		トとの整合か	
		15週		互評価 題⑤:相互評値	西報告)	グループごとの成り 企業が抱える課題 資料作成に関する	果発表を通 こついて理 課題	して、地域産 経解を深める。	産業と技術、 発表・報告		
	-	L <u>6週</u> 一,	~ *** 777								
	アカリキュ	ユフム 分野		内容と到達 学習内容					到達レベル	松茶油	
基礎的能力	人文・社会 科学			現代社会の考察	現代社会の特質や認用して探究し、そのを通して、世界の	学習内容の到達目標 現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活 用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動 を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現 について人文・社会科学の観点から展望できる。					
					他者の意見を聞きる				4		
					合意形成のために会				4		
					グループワーク、「 践できる。	方法を実	4				
					書籍、インターネッ収集することができ	を適切に	4				
	汎用的技能	e mm	的壮松	汎用的技能	収集した情報の取扱報を選択できる。	すべき情	4				
分野横断的	<i>州</i> 山田中37又月	E //L/H	四分又形	//让州中外交报	収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要だあることを知っている。				4		
能力					情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について 自己責任が発生することを知っている。				4		
					情報発信にあたってあることを知ってい	が必要で	4				
					目的や対象者に応し信(プレゼンテーシ		や手法を用いて正し	く情報発	4		
	態度・志に		・志向	態度・志向	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。				4		
	性(人間力) 性		<u>性</u>	自らの考えで責任を	きる。	4				
評価割合						1	ì		1		
							ポートフォリオ	提出物	合計	t	
総合評価割合			40		40	0	0	20	100)	
基礎的能力	0		40)	40	0	0	0	80		
専門的能力	0		0		0	0	0	20	20		
分野横断的能	比力 0		0		0	0	0	0	0		

長岡	工業高等	 専門学校	開講年度	令和03	年度 (202	1年度)	授	 愛業科目	実用英	語		
科目基礎		131 33 12	7/13213 1 2	Титис	1/2 (===			(XICTIO	120/1320	PH		
科目番号	-113114	0007			科目	 目区分		一般/選	 択			
授業形態		講義				立の種別と	単位数	学修単位				
開設学科		専攻科			対象	象学年		専2				
開設期		前期			週	時間数		2				
教科書/教	材	Our So	ciety, Our Diversit	y, Our Mo۱	vies (金星堂)							
担当教員		占部 昌河	戡									
到達目標	<u> </u>											
える。) この科目は この科目の 到達 ①単語や繋 ②文法や権 ③読んだり ④意味のま	は長岡高専の 到達目標と 国標評価の い語の理解を理解し 関いたを理解し ととまりを を)教育目標の 全 で を で で で で で で で で で で で で で	ical English) (本科 D(B)と主体的に関 目標と長岡高専の学 教育到達目標との 使用できる。25%(b きる。25%(b3) Dいて、理解したこ 5英文を音読したり	わる。 習・教育到 関連 o3) とや感じた	達目標との関 ことを英語で	連を以下の 表現できる	表に示す 。25%(l	- •	する。下訂	记授業計画の週は回に読み替 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
ルーブリ	リック									T		
			理想的な到達レベルの目安 優)		的な到達レベ	いの目安	到達レヘ	ベルの目安(可)	未到達レベル		
語彙力			吾や熟語の意味を理 使用できる。		や熟語の意味 ね使用できる		単語や熟きる。	熱語の意味を	理解で	先に達しない		
文法や構文	ζ		法や構文を理解し、 きる。	使用 文法 使用	や構文を理解]できる。	とし、概ね	文法や様	ます 大を理解で	ごきる。	左記に達しない		
読解・表現	読解・表現力		しだり聞いたりした Oいて、理解したこ びたことを英語で表 る。	とや につ 現で 感じ	だり聞いたり いて、理解し たことを英語 きる。	たことや	について 感じたこ	んだり聞いたりしたこと ついて、理解したことや じたことを英語で少しは 現出来る。		左記に達しない		
応用力		がら	未のまとまりを意識 ら英文を音読したり を理解することがで	、内 がら	のまとまりを 英文を音読し 理解すること 。	たり、内	がら英文	末のまとまりを意識しなら英文を音読したり、内を少しは理解することがきる。		左記に達しない		
学科の到	」達目標項	目との関	月 係									
教育方法	等											
概要		ていきま	く(社会問題を扱っ きす。それぞれの学	習ユニット(について考)	は世界の今日	的トピック	に焦点を	あてて構成	されてい	課題を通して思考力も養っ ます。本学習では、①世界 技能を総合的に伸ばすこと		
授業の進め	方・方法	」に関し	、ては、主に教材を、	用い、語彙、	、パラグラフ	リーディン	グ等を学	習します。	「書く」	-スです。「読む」と「聞く に関しては、テキスト内の プレゼン準備を通して個々		
注意点		持参して 2)本科目	こください。		_	_				ョノートPCやタブレット等を あります。プレゼン(英語		
授業の属	性・履修	き上の区分	}									
□ アクテ			□ ICT 利用			遠隔授業対	抗応		□実	務経験のある教員による授業		
			•						•			
授業計画	Ī											
		週	授業内容			週ごとの到達目標						
		1週	シラバス内容説明と課題、評価等の説明を行う					左記の内容を理解する				
		2週	Unit 8: Foreign I		nd self-confi	idence	左記の	左記の内容を理解する				
		3週	Unit 9: Frame of mind					左記の内容を理解する				
		4週	Short review: Unit 8 & 9					左記の内容を理解する 英語ライティング課題				
	1stQ	5週	Unit 3: Prejudice and egocentrism				左記の内容を理解する					
		6週	Unit 1: United by desperation - white trash			左記の内容を理解する						
		7週	Short review : U	nit 1 & 3			左記の 英語ラ	左記の内容を理解する 英語ライティング課題				
前期		8週	Review : Unit 1,	3,8&9			左記σ	左記の内容を理解する				
		9週	Unit 6: Be an In	tercultural	interpreter		左記σ)内容を理解	解する			
		10週	Unit 5: Choosing	a home			左記の)内容を理解	解する			
	210	11週	Short review : U				左記の 英語ラ)内容を理解 ライティング	解する グ課題			
	2ndQ	12週	Review: Learnin diversity in a cou	g immigrai untry	nts and thinl	king)内容を理解				
		13週	Choosing a them	ne for a pre	esentation		振り返)内容を理解 をり及びテー	-マ決定			
		14週	プレゼン準備					プレゼン資料作成及び提出				

		15ì	周	プレt	ヹン(発表会)	左記の内容(他者の考え、 伝える力の学び			の考え、テ	テーマ)を理解する		
		16ì	周	定期記 17週	式験なしのた& 目:発展授業	か実施せず						
モデルコ	アカリコ	キユき	ラムの	学習	内容と到達	目標						
分類 分野				学習内容	学習内容の到達目標	西 元			到達レベル	授業週		
						日常生活や身近な記りとした発音で話す きる。	話題に関して、毎2された内容から必3	分100語程度の速度 要な情報を聞きとる	ではっきことがで	4		
				吾		日常生活や身近な記 現を用いて英語で記	本的な表	4				
基礎的能力	人文・ジ	文・社会	英語		英語運用能力の基礎固め	説明や物語などのなように音読ができる	に伝わる	4				
	1113					平易な英語で書かれ を読み取ることがで	4					
						日常生活や身近な詞 100語程度のまとま	4					
						母国以外の言語やる面で積極的にコミニ	4					
評価割合												
	レ	ポート	`	プ	レゼン	相互評価	態度・出欠	ポートフォリオ	その他	合計	-	
総合評価割る	今 60)		20		0	20	0	0	100		
基礎的能力	60)		20		0	20	0	0	100		
専門的能力	0			0		0	0	0	0	0		
分野横断的	能力 0			0		0	0	0	0	0		